

## 第37回 経営協議会 議事要録

- 日 時 平成23年10月27日（木）13時30分～15時00分
- 場 所 事務局第二会議室
- 出席者 宮田亮平学長、三浦春政理事、井橋光平理事、  
池田政治美術学部長、植田克己音楽学部長、堀越謙三大学院映像研究科長、  
石田義雄委員、遠山敦子委員、福井俊彦委員、高階秀爾委員
- 欠席者 中村胤夫委員、滝 久雄委員、  
渡邊健二理事、多田羅迪夫学長特命、
- 陪 席 監事：中島尚正監事、竹内雄也監事、  
北郷 悟理事、宮廻正明学長特命・社会連携センター長、  
田口榮一附属図書館長、関 出大学美術館長、  
杉木峯夫演奏芸術センター長

### 議題

なし

### 報告及び連絡事項

1. 平成22事業年度財務諸表の承認について  
標記のことについて、三浦理事から資料に基づき報告があった。
2. 平成24年度収入・支出概算要求書〔予算積算上〕について  
標記のことについて、三浦理事から資料に基づき報告があった。
3. 決算検査報告に掲記した事項に対する措置状況について  
標記のことについて、三浦理事から資料に基づき報告があった。
  - ・ 取手校地の利用計画について、池田美術学部長から説明があった。
4. 学生寮整備事業に係る土地交換契約について  
標記のことについて、三浦理事から資料に基づき報告があった。
5. その他
  - 三浦理事から「平成24年度予算に向けた取組について」の報告があった。
  - 机上配付資料について、それぞれ説明があった。
    - ・ GTS観光アートプロジェクトについて
    - ・ 各種演奏会について
    - ・ コンサートスケジュールについて

- 宮廻学長特命から特許取得について説明があった。
- 堀越大学院映像研究科長から、映像研究科の活動等について説明があった。
- 議長から、今後の藝大の活動計画等について説明があった。

#### 学外委員からの主な意見

- 藝大の活動計画等を聞き、藝大が外に向けて発信しようとする意図がよく分かった。
- 取手の利用計画のひとつであるアトリエの設置及び活用はよいことと考える。
- 藝大の美術館の場所を知らない人たちがいるようなので、これには問題がある。
- プロジェクトによる予算の獲得はよいことと考える。
- G T Sにおける由絵茶屋の再現など、その内容は興味深い。
- 震災後、多くの外国人が来日を控える中、藝大が著名な外国人を招いて演奏会を実施したことは、外に向かってもっと情報発信してよいことである。海外には、事実が伝わっていないので、情報発信の方法を考えるべきである。
- アトリエの利用などについては、例えば様々な国の人たちに解放、交流するなどして藝大のみという枠をはずすことも、次に繋げるために肝要と考える。